





(9) 癒しの場としての学校図書館活用

楽しい！おいしい！本の世界

荒川区立第九峡田小学校図書館 編



実践事例	
1	対象(年齢・学年)等 : 小学校全学年
2	実施時期 : 平成23年10月20日(木)～11月4日(金)
3	概要 : 校内読書週間に合わせて、本の中から答えを探すクイズを学校図書館で行ったり、絵本にちなんだ献立を給食に取り入れたりすることで、読書の苦手な児童も楽しみながら本と触れあい、学校図書館や本に親しめるようにした。
4	<p>内容</p> <p>① 読書クイズ 本から答えを探す読書クイズを低・中・高学年別に3種類用意。クイズに正解した児童は、図書委員デザインのしおりを賞品として貰える。また、クイズに使用する本は、各学年でぜひ出会ってほしいお勧めのものを選んだ。</p> <p>② ブックメニュー おいしそうな料理の出ってくる絵本の読み聞かせを聞いた後で、その料理が再現された給食を味わう。読書週間中に2回行い、そのうち1回は図書委員が児童集会で読み聞かせを行い、もう1回は図書ボランティアのお母さんによる読み聞かせを行った。</p> <p>③ 学校図書館の装飾 図書ボランティアによる手作りの飾りで、楽しく親しみやすい学校図書館の空間づくりをする。</p> <p>①読書クイズでにぎわう学校図書館  ②ブックメニューの掲示  ③学校図書館の装飾  </p>
5	<p>参加者の反応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賞品のしおりを目指して、張り切ってクイズに取り組む児童が多く、普段学校図書館に来ない児童の参加も目立った(全校児童176人中、のべ294人の参加) ・読書週間終了後も学校図書館に来て、クイズやブックメニューに使われた本を改めてじっくり読む児童が増え、落ち着いた気持ちで本に親しむ時間や空間の提供につながった。また、おもしろい本の感想を友だちと話す様子も見られ、豊かな人間関係づくりにも結びついた。 ・ブックメニューでは、苦手な魚料理を「とてもおいしかった」と家で話してくれたという、母親からの声もあった。
6	<p>連携した諸機関</p> <p>図書ボランティア 荒川区教育委員会学校図書館支援室</p>